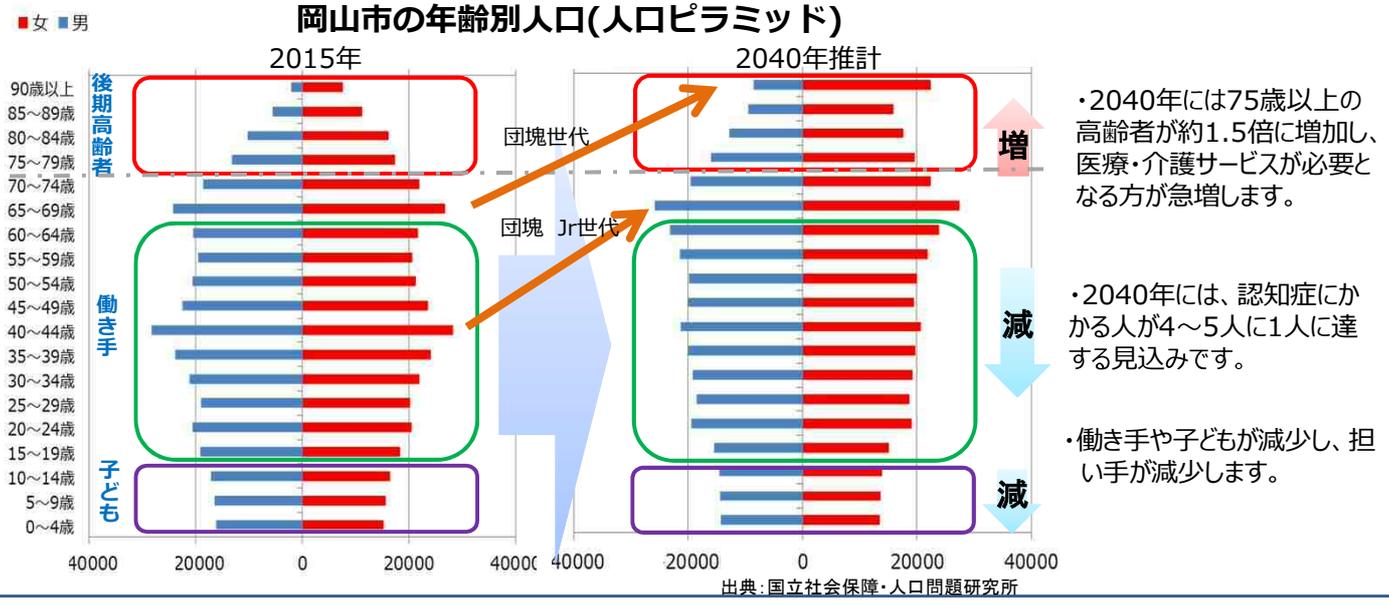


はじめに

平成27年4月の介護保険法の改正に伴い、支え合いの地域づくり(生活支援体制整備事業)を全ての市町村で取り組むことになりました。この事業は、「支え合い活動を広げる」と「高齢者の社会参加」を2本の柱とし、「年をとっても、体が不自由になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、人生の最後まで続けることができる」ように、住民とさまざまな機関が連携し、地域の実情にあった支え合いの仕組みづくりを広げていくものです。

そのために、岡山市では『支え合い推進員(生活支援コーディネーター)』を配置し、小・中学校区単位で、「こんな地域になったらいいな」を話し合い、実現に向けて取り組む場(=協議体)が立ち上がるよう支援をしています。

岡山市の人口変化についてご存じですか？

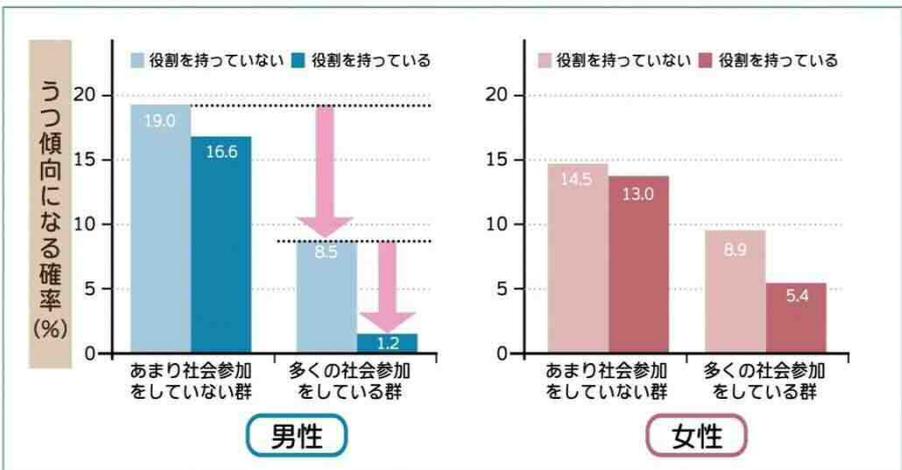


- ・2040年には75歳以上の高齢者が約1.5倍に増加し、医療・介護サービスが必要となる方が急増します。
- ・2040年には、認知症にかかる人が4~5人に1人に達する見込みです。
- ・働き手や子どもが減少し、担い手が減少します。

コラム 社会参加は、自身の元気な生活を長続きさせることにもつながります

「多くの社会参加をしている人」は「あまり社会参加していない人」に比べ、男女ともうつ傾向になる確率が低い (特に男性で顕著)

AGES 2003年調査時点でうつ傾向が無く、2006年調査にも回答した65歳以上の2728人



趣味、スポーツ、町内会、ボランティア、老人クラブ、業界、宗教、政治のグループへの参加をたずね、主成分分析で社会参加得点を算出

Tagaki, D., Kondo, K., & Kawachi, I. (2013). BMC Public Health, 13: 701. doi: 10.1186/1471-2458-13-701. 引用: 一般社団法人 日本老年学的評価研究機構 HP エビデンス集



うつ傾向があると、要介護状態になりやすいんだよ。

このほかに、

- ・「地域で役割のある高齢者は長生きしやすい(死亡率12%減)」
- ・「ボランティアをする人が多いまちは幸福感が高い者が多い」
- ・「ボランティア参加者が多い町で連帯感が高い」

という調査結果もあります。



支え合いは、人のためだけでなく、自分のためにもなるんだね!!

～地域に支え合いの花をさかせましょう～

地域の困りごとは様々で、その内容も地域により異なります。そこで支え合いの地域づくりについて話し合う場「協議体(支え合い推進会議)」と、「岡山市支え合い推進員(生活支援コーディネーター)」を配置し、お互いが協力しながら「支え合いの地域づくり」を進める地域づくりに取り組んでいます。

協議体(支え合い推進会議)

みんなで話し合って、「あったらいいな！」を形にしていく「協議と実践の場」
 自分の住む地域が「こうなったらいいな」という思いで話し合い、その実現に向けて無理のない範囲で取り組みながら、その地域ならではの支え合いや助け合いのやり方を考える場です。

例えば…

現状

うちの町内では、閉じこもりがちになっているお年寄りが増えているみたい

地域全体でそういうお年寄りが増えているのかな？

高齢化率や高齢単独世帯率が高いから、これからもっと増えていくよ

通いの場に行きたくても行けない人もいますよ

出かけている場が地元でどのくらいあるんだろ？

健康講話の講師ができるよ

協議体のメンバーはテーマによっていろいろ

理想

気軽に集まって話ができる場がもっと必要かも

集まるきっかけづくりに使える事業があるよ

うちの施設の空きスペースが使えるよ！

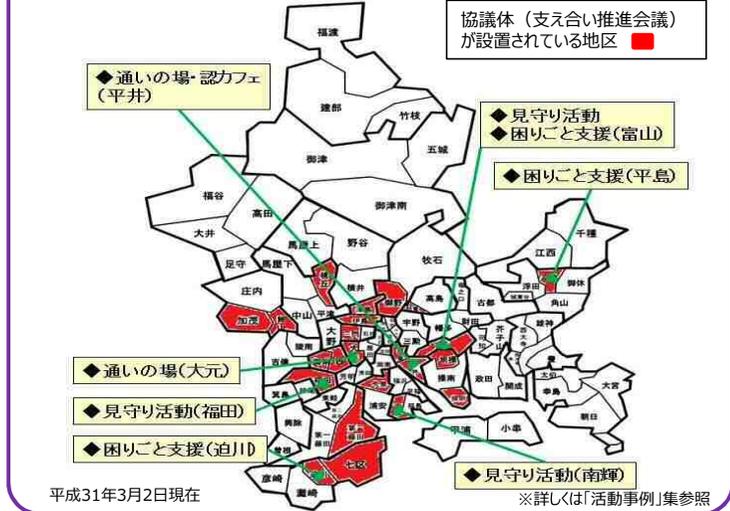
協議体のメンバーはテーマによっていろいろ

まずは地域の情報を集めて整理してみよう！

こんな活動あったらいいな！

岡山市内でも始まっています！「支え合い・助け合いの活動」

「協議体(支え合い推進会議)」で話し合って「困りごと支援」「通いの場」「見守り活動」に取り組む地域が広がっています。



取り組みの一例(富山学区)

「とみやま助け合い隊」が立ち上がりました！

学区民の日常生活の困りごとを、同じ学区のサポーターによって解決していく「共助」の仕組みをつくりました。料金はサポーター1人について30分まで300円、以後10分毎に100円になります。「誰もが、住み慣れたこのまちで、未永く、自分らしく暮らす」地域にしていきたいです。

・皆の力を合わせることで、様々な地域課題にも対応できます
・福祉関係者でなくても、色々な分野の人も参加してほしいです
・それぞれが得意なことを活かすと、できることが増えていきます

協議体の一例(大元学区)

「チーム大元」が立ち上がりました！

住民のつながりを考える勉強会をきっかけに結成。大元学区が、より住みやすい支え合いのまちになるように、まずは、身近にできることからやってみよう！と動き始めました。



「大元ワイワイふれあいカフェ」

月2回大元公民館で開催。学区民から誰でも参加可能。おしゃべり、季節の行事、世代間交流等なんでもOKな場です。



岡山市支え合い推進員(生活支援コーディネーター)

岡山市支え合い推進員は支え合い・助け合いの地域づくりをお手伝いする専門職です。岡山市内には6人の支え合い推進員が岡山市社会福祉協議会に配置されています。協議体と協力し、支え合いの地域づくりを広めるために、地域の様々な活動や人をつなげたり、支え合い活動の立ち上げなどをお手伝いします。

支え合いの地域を目指して、私たちと一緒に考えていきませんか？ぜひお声がけください



協議体と協力

地域づくり支援ネットワーク(小中学校区単位で地域づくりを支えるチーム)



地域づくりに携わる行政部署・関係機関が連携して支えます。

これらの機関はつながっています。どの窓口からでも、お声かけください。

こんな声をいただいています

- 行政が連携してくれたことがありがたい。
- 同じようなことをする組織は沢山あっても、どこか何をしてくれるのか分からなかった。本当にたすかる！



岡山市では、支え合いの地域づくりを進めるため、以下の取り組みを行なっています

●地域づくりの機運を高めています

- ・地域づくりのフォーラム(全市・福祉単位)
- ・実践者の交流会
- ・地域での勉強会開催・講師の手配

例) 地域で開催する「勉強会」：※下記を参照

●担い手の養成やマッチングをしています

- ・生活支援サポーター養成講座：地域デビューをサポートする講座
- ・生涯現役応援センター：ボランティアを行いたい人と活動の場を結びつける窓口

●情報提供をしています

- ・おかやま通いの場マップ：地域の身近な交流の場所を示すマップ
- ・岡山市支え合い活動事例集：支え合い活動の先進事例を紹介
- ・介護予防・社会参加に役立つ事業集：市が行う事業や連絡先等を一覧にした冊子

●地域づくりの関係部署・機関の連携をすすめています

地域づくりに関係する市の関係課や機関が、互いの事業、情報を共有し、一体的に協働して事業を進められる体制作りに取り組んでいます。

おさかな会議：『お(お)かやま市に、(さ)え合いの、(か)がやく、(は)な』を咲かせる会議

どんなこと
しよん？

うちもそんなこと
してえなあ



実践者の交流会



組織間で情報を共有しつつ
事業を展開

岡山に支え合い
の花を咲かせよう



「地区勉強会」に参加してみませんか！

地域の支え合いの必要性などについて知り、「こんな地域にしたい」という思いを共有したり、「そのためどんな仲間が必要か」など、みんなで考える勉強会を行っています。

この勉強会から「地域を良くしたい」との思いを持つ仲間が集まり、協議体(話し合いの場)の立ち上げにつながっています。

自分たちの地域に必要な(必要となる)支え合い活動について、皆さん一緒に考えてみませんか？

「参加者の声」

自然体で人がつながっていく
地域づくりができればええなあ

話し合う
ことは大
切じゃなあ

隣近所を良く知ることから始めんとね



※勉強会や協議体に参加してみたい方は、下記連絡先へお問合せください。

発行・問い合わせ先：社会福祉法人 岡山市社会福祉協議会 地域福祉課

〒700-8546 岡山市北区鹿田町一丁目1-1 岡山市保健福祉会館内/ 電話 086-225-4051

☆各種資料： http://www.city.okayama.jp/hofuku/tiikihoukatsu/tiikihoukatsu_00007.html

※本事業は、岡山市から岡山市社会福祉協議会への委託事業です。

